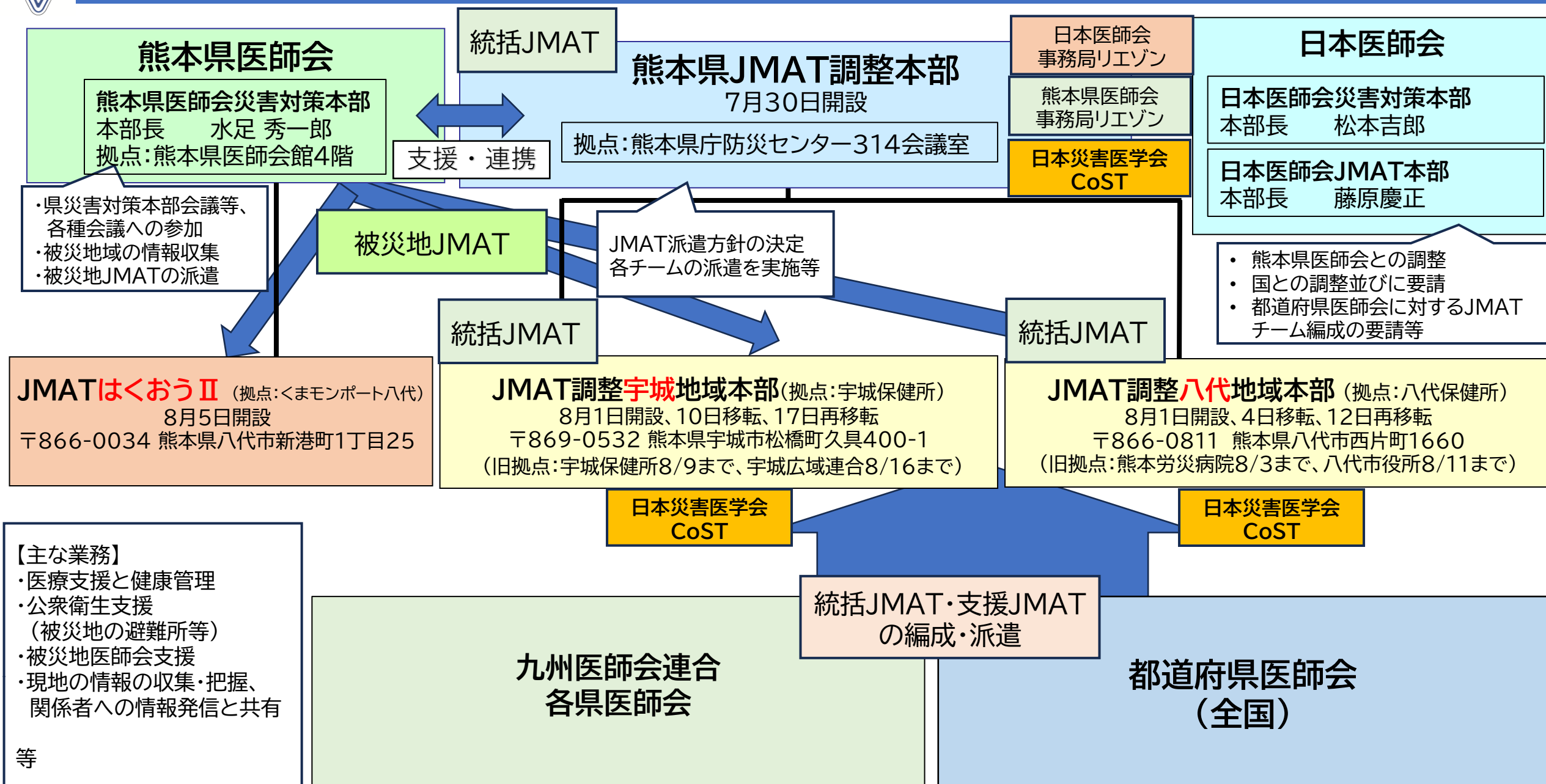
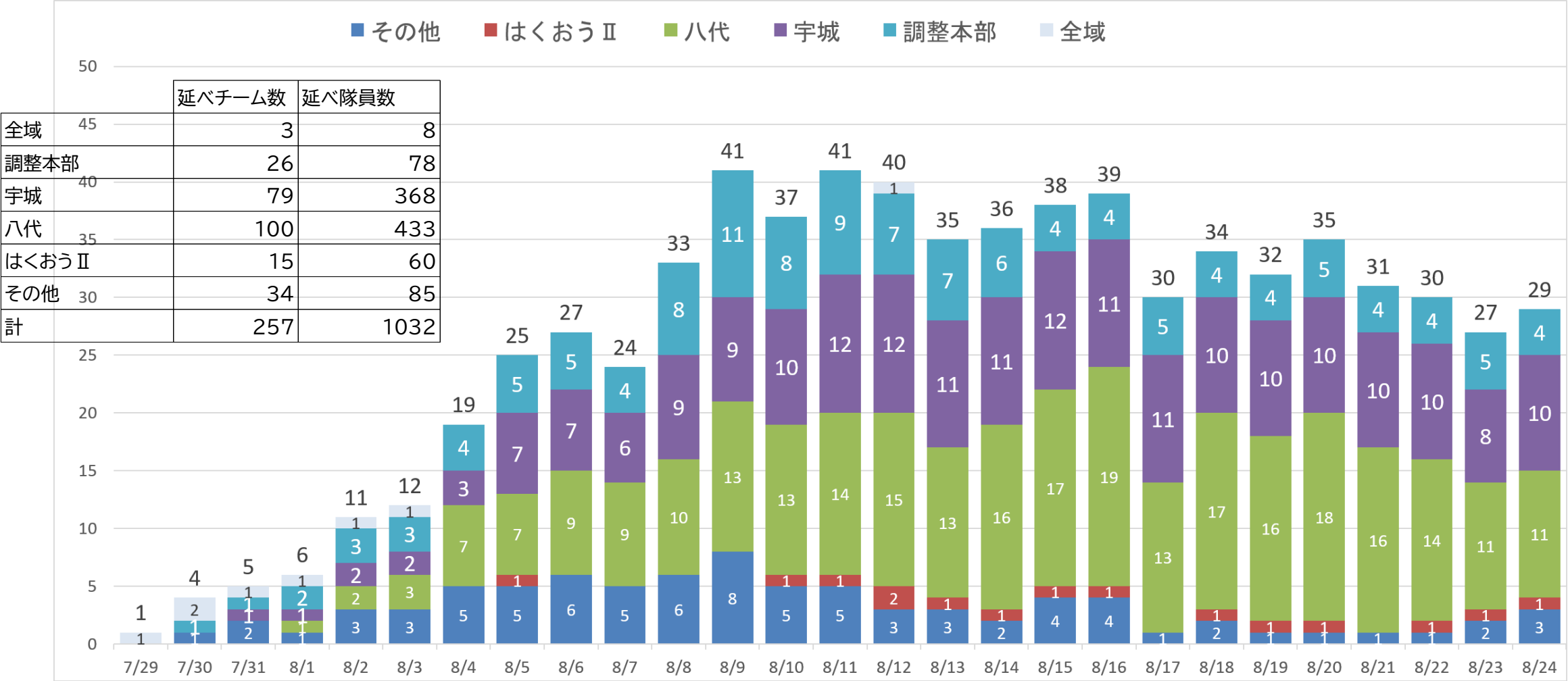




令和8年熊本地震
1日あたりJMAT派遣チーム数(2026年8月24日) 11時時点



※ 1 各地の支援チームには、DiaMAT、DVTチームを含みます。
※ 2 その他は、先遣隊、調整不要のチーム、医師会のロジ支援チームを含みます。

熊本県（八代地域）

現地視察（8月21日）



水足 熊本県医師会長と共に、木村 熊本県知事と面談、
JMATの派遣状況や日本医師会の対応を説明



JMAT調整八代地域本部の訪問
（八代地域保健医療福祉調整現地本部会議）



西 八代市医師会長、峯 八代郡市医師会長と
現状や課題について意見交換



JMATの支援先医療機関を訪問

**被災地の状況や支援ニーズを聞き取るとともに、今後のJMATの活動方針を検討
（8月9日の宇城地域に続き2回目の現地視察）**

千葉県（千葉市）現地視察（8月24日）



中央区榎本医院。床上約7センチまで浸水。消毒業者の手配に時間を要して診療再開が遅れた他、被災ごみが自治体に事業所ごみとされ、処理できずに残っている



若葉区みつわ台クリニック。床上約50センチまで浸水し、電気機器の大半が使用不能になり診療不可に。設備や医療機器の入れ替えが大きな課題



稲毛区山王病院。地下1階の電源設備や非常用発電設備、医療物資を保管していた倉庫が完全に水没。電気と水道の使用が現在も大きく制限



稲毛区山王病院。120名を超える入院患者の転院調整・搬送のためDMATが出動。患者の安全を最優先に対応を進め、8月24日までに転院を完了

現場の実情を把握し、国や関係行政機関の支援につなげていく